

国定氏と課題を共有

滝沢市長、17項目で要望

衆院選で初当選した国定勇

し合い、問題意識を共有した。

目の要望を挙げ、それについて話し合った。今後、空き家の増加に伴って市が代執行して撤去するケースが増えた場合、財政負担の重さから実行ができなくなる懸念があることや、河川改修が進んだ一方、河川法の対象とならない水路などの老朽化が進み、それらの整備が国の交付金の対象外となっていることなどを重点的に議論した。

国定議員は「私の市長時代とは異なる視点からの問題提起があり、非常に勉強になった」とし、今後も選挙区内の自治体との意見交換を進めていくとした。

三 条

人議員（比例北陸信越）と、三条市の滝沢亮市長らとの意見交換会が11月29日、同市役所で開かれた。市が抱える課題や国に対する要望などを話

国定議員は昨年10月まで三条市長を務め、今年10月の衆院選で新潟4区から立候補。菊田真紀子議員に敗れたが、比例で復活当選をした。意見交換会は地域が抱える問題を改めて知りたいと、国定議員が三条市側に申し入れた。

意見交換会は、市側が17項

意見交換後、滝沢市長は「自治体の実情を伝えることができ、有意義な時間が持てた。地域に2人の衆院議員がいる



三条市の抱える課題などについて意見を交換した国定勇人議員（左）と滝沢亮市長（右）＝同市役所